

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 日

事業所名 プレミアム

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		お子様の状況、特性を考えながら場所を区切るなど工夫している。	適切なスペースを設けている。感染症予防のため、部屋や机のスペースを意識し、座る場所を設定するなどしている。今後も適切に対応していく。
	2	職員の配置数は適切である	○		基準値より多く配置している。	十分な配置をしている為、継続していく。また、スタッフとご利用者様の相性なども考えながら配置を行っていききたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	ご自宅や、外出先での段差などで怪我をしないよう、注意して歩くといった練習材料にしている。	駐車場から屋内に入るまでの通路の段差の補修は行っている。スロープにしたり、手摺を付けるなどの大きな工事は行っていないが、この特徴を活かした支援を行っていききたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		午前中に行っているミーティングの際に話し合いをしている。	今後もミーティングや日々の情報交換を活用し、支援の内容や評価、改善を行っていく。改善点は、スタッフ間で共有をし実行に移す。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年行っている。	今後も保護者様からのご意見や言いづらい事にも焦点をあて、改善に努めていく。また、このアンケートにも沢山のご意見やご要望を書いて頂ける様に関りを継続していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		保護者様へ直接お話をさせて頂いたり、毎月発行している新聞を活用している。	公開している。今後もより多くの保護者様に見て頂けるように、保護者様への周知を図る。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		定期的に現場に居ない第三者が内部監査を行い業務改善に繋げている。	定期的に外部の役員からの評価を実地することで、見落とされている書き漏れ、入力ミスなどを発見でき改善に繋げています。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		年間のスケジュールに沿って内部研修を行っている。希望者は外部の研修にも参加できる。	内部研修は、年間スケジュールを用いて行っている。外部研修は、感染対策のため参加する機会がなかったが、これからは機会があれば積極的に参加をしていきたい。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		日々の保護者様とお話や、スタッフ間での話し合いでアセスメントをして計画を作成している。	今後もアセスメントツールの活用や、保護者様との日頃のやり取りで、ニーズや課題の把握に努めていく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		保護者様によって頂いたアセスメントをスタッフ間で共有している。	アセスメントを元に日々の支援や特性の把握に努めていく。お子様の成長に合わせた支援を行っていく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		ミーティングの際に話し合いを行っている。	活動担当のスタッフが立案をし、その後スタッフ全員でチェックを行って沢山の意見を出し合い作成をしている。今後も継続して行っていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		スタッフ全員で話し合い作成をしています。また、個別の目標も取り入れるなど工夫をしている。	季節の行事を取り入れたり、初めて行う活動も積極的に取り入れている。また、保護者様の要望も取り入れていきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		個人に合った目標を設定し取り組んでいる。	普段の保護者様とのやり取りで、ご要望を取り入れたり、お子様に合った活動目標をスタッフ間で話し合いをし設定している。また、個別に目標設定の表を作成し記入することで、次に繋がる支援を行うことができる。今後も継続していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		日々変化するお子様の様子を、スタッフ全員が把握できるようにしている。	お子様の状況、変化をミーティングなどで話し合い、計画を立て実践している。活動に参加することが難しいお子様も、どうしたらいいのかをスタッフ全員で常に考えている。今後もたくさんのお案を出していきたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		平日はその日の朝、土日祝は前もってミーティングを利用して計画を立てている。	午前中の時間を利用してミーティングを行い、その中で前日の振り返り、当日の流れの確認、役割分担などを話し合っている。スタッフ全員が発言することを心掛け、お子様の様子の話が止まらないこともあるので時間に気を付けている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		その日の活動の様子などを記録している。	支援終了後の集まってる振り返りは、緊急時以外は行っていないが、緊急時には必ずスタッフ全員が周知できるようにしている。その日の様子などは翌日に必ず振り返りを行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		ミーティングや、活動の様子を記録を活用している。	個別に支援記録を記入している。また、ミーティングなどでスタッフ同士意見交換をし、改善に努めている。意見を、記録を記入するスタッフが偏らないようにしたい。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		児発管だけではなく、日々関わるスタッフの情報も大切にしている。	保護者様や児発管の話だけではなく、スタッフからのお子様の様子や、変化の意見を取り入れ、変更の見直しが必要なかを常に考えている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		今まで行ってきた活動内容で好評だったものなど、スタッフからの意見も大切にしている。	同じ活動の中でも、色々な要素を取り入れ行っている。これからも保護者様からの要望や、季節感を大切にしていきたい。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	○		事業所を会議の場所として も提供し、会議に参加して いる。	お子様の様子、状態をよく知る児発管、管理者が主に参加 している。お子様とスタッフな相性などもある為、お子様が気 に入っているスタッフを参加させたり、より良い会議にしてい きたい。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	○		毎月のご利用者様のリストを学 校へ提出しています。また、学校 での様子や下校時なかなか送迎 車まで来られない場合学校の先 生の判断を待ち、教室や下駄箱 までお迎えに行くなどの対応を している。	学校が発行している年間、月の行事予定を確認 している。 日々のお子様のご様子についても共有をし、適 切に行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている		○	必要なお子様は居ないが、 スタッフへ医療的ケア見と はと言う話をすることにこの 自己評価表を活用している。	今は医療的ケアが必要なお子様は居ないが、今 後医療的ケアが必要なお子様を受け入れる際 は、設備、体制を整えたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	○		契約の際に保護者様が記 入していただいた、アセスマ ントツールを共有している。	保護者様が記入していただいたアセスメントや、相談支 援員を通して、ご利用前の情報を共有している。また、 担当者会議等でも情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行 する場合、それまでの支援内容等の情報を 提供する等している	○		移行前に情報を共有、また、 移行後も情報の共有を行 っている。	保護者様のニーズやデイサービスでのご様 子、特性、支援内容など移行先にお伝えい ている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研 修を受けている		○	外部研修の案内など、印刷 をしスタッフに共有してい る。	以前は外部の研修に参加をしていたが、現在はコロナ ウイルスの影響もあり参加できていない。今後は少しず つ参加していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある		○	現在は外での活動に慣れ る練習を行っている。 (集団で歩く・座る等)	児童クラブなどの交流は行っていない。公園や、小さな施設 などに行き一般の方々いる中での活動は行っている。 自傷や他害が発生した場合の安全確保が課題となる。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している		○	メールで届く会議の案内な ど毎日チェックをしている。	毎年ネットワーク会議に参加をしている。協議会 がどのような発信をしているのか調べていき たい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	○		いつでもお悩みや、ご要望 を、管理者の携帯に連絡を して頂いている。	日々の送迎の際にその日のご様子をお伝えしたり、お子様 の変化や、課題、ご家庭での様子などを細かく話をして いる。今後はしっかりと保護者様と情報の共有をしてい きたい。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	○		悩みや、お困りのことはす ぐにご連絡頂ける体制を整 えている。	送迎の際に保護者様の悩みなどをお聞きしたり、管理 者の携帯にご連絡頂いている。その都度助言やサ ポートを行っている。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	○		ご契約時に必ず説明を行っ ている。	ご契約の際に説明をおこなっていますが、質問 があればいつでもお答えできるようにしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相 談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っ ている	○		悩みや、お困りのことはす ぐにご連絡頂ける体制を整 えている。	送迎の際に保護者様の悩みなどをお聞きしたり、管理 者の携帯にご連絡頂いている。その都 度助言やサポートを行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	○		コロナウイルスに影響で数 年間保護者懇談会を開催 できずでしたが、昨年 より保護者懇談会を開催 している。	ここ数年保護者懇談会を開催できていなかったが、昨 年開催することができた。保護者様のたくさんの質問 やご意見を聞くことができとても良かった。今後は継続 して行っていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	○		苦情受付を設けています。 困りごと、ご意見などは管 理者の携帯や、送迎の際 に保護者様からご相談を聞 いている。	現在は送迎の際や、管理者の携帯などに、その 都度困りごとやご意見を相談して下さっている 為、苦情に至るケースはほとんどない。今後は保 護者様と密にお話をし苦情に繋がる前に解決を していきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	○		毎月各事業所ごとに新聞を 発行している。	毎月新聞を発行し、お子様の日々のご様子や活動内容など を記載し発行している。今後はお子様が楽しんでいる様子や 今行っている活動を掲載、保護者様も見て分かりやす新聞を 作成していきたい。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報の取り扱いがスタ ッフ全員周知している。	個人情報がかつた書類は必ず鍵のついたキャビネット、鍵付きの事務所に保管し ている。また、不要になった個人情報が載った書類は必ずシュレッダーで処理し ている。送迎の際も外に名前など見えないように注意している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	○		日々の関わりの中で、お子 様にあった意思疎通の方 法を共有している。	日々変わるお子様の変化や、意思疎通が上手くできたやり方など発 見があれば必ず保護者様と共有している。上手くいったことだけでは なく、苦手なワードなども共有している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている		○	以前は行っていました。が、感 染症の問題で現在はして いない。	以前は地域の方や保護者様を招いてバザーを開催していたが、感 染症の問題がある為、外部からの来客を招いての開催が難しい。 今後は少しずつ行っていきたい。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		色々な種類のマニュアルを用意し誰でも、いつでも見てもらえるようにしている。	色々なマニュアルを研修などで使用し、スタッフ全員で確認をしている。避難訓練は特にスタッフ全員でマニュアルを読み込み、毎月避難訓練を実施している。送迎の際にお話をし保護者様により知って頂けるようにする。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月避難訓練を実施しています。避難訓練に参加するお子様が偏らないように工夫している。	毎月マニュアルに沿って避難訓練を実施しています。また、地震や火災だけではなく、毎年各地で発生している水害や、不審者に対する訓練も行っている。訓練後はスタッフ間で振り返り、改善策を話し合っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年間のスケジュールに沿って内部研修を行っている。	年間スケジュールに沿ってスタッフ全員が参加した会議で研修を行っている。また、虐待防止委員会を設け、定期的に会議を行っている。継続していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	原則として拘束はしない。	スタッフには身体拘束防止についての研修、保護者様には契約時に説明を行っている。プレミアムでは身体拘束は原則として行はないと言う事も説明を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		魚卵、小麦、牛乳など保護者様からの指示で対応している。	保護者様から詳しい情報をお聞きし、正確に対応をしている。また、対応が変わった際もスタッフ全員が把握できるようにキッチンに張り紙をするなど間違いがないようにしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットの記録を残し、スタッフで共有している。	毎月ヒヤリハットを記録しスタッフ全員で共有している。また、改善策を話し合い、結果も記入している。